

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月10日

上場会社名 株式会社東天紅 上場取引所 東

コード番号 8181

URL http://www.totenko.co.jp

表 者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)小泉 和久 (氏名)福岡 廉雄

(TEL) 03 (3828) 6272

問合せ先責任者 (役職名)総務部長

平成26年1月14日

配当支払開始予定日

四半期報告書提出予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の業績(平成25年3月1日~平成25年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	4, 546	△8. 1	△200	_	△218	_	△265	_
25年2月期第3四半期	4, 946	8. 2	19	_	Δ1	_	△15	-1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	△10.33	_
25年2月期第3四半期	△0.60	_

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年2月期第3四半期	百万円 13, 232	百万円 8.879	% 67.1
25年2月期第3四十期	12, 590	9, 138	72. 6

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 8,879百万円

25年2月期 9,138百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円銭	円 銭	円銭	円銭		
25年2月期	_	0.00	_	0. 00	0. 00		
26年2月期	_	0. 00	_				
26年2月期(予想)				0. 00	0.00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日~平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利	益	経常利:	益	当期純利	J益	1株当たり 当期純利益	
通期	百万円 6,350	% △7. 3	百万円 △150	% —	百万円 △180	% —	百万円 △200	% —		銭 78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年2月期3Q	25, 728, 716 株	25年2月期	25, 728, 716 株
26年2月期3Q	38,169 株	25年2月期	36, 307 株
26年2月期3Q	25, 619, 467 株	25年2月期3Q	25, 692, 739 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算 短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していませ ん。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. ≝	四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する定性的情報	2
(2)	財政状態に関する定性的情報	2
(3)	業績予想に関する定性的情報	2
2. サ	マリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1)	四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 匹]半期財務諸表	4
(1)	四半期貸借対照表	4
(2)	四半期損益計算書	6
(3)	継続企業の前提に関する注記	7
(4)	セグメント情報等	7
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6)	重要な後発事象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による金融緩和をはじめとする積極的な経済政策を背景に、円安・株価上昇が進んだものの、企業収益の改善傾向も大企業を中心とした一部に効果が限られ、また本年4月からの消費税増税による影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況のもとで、当社は、平成25年10月、新「上野本店」の建設に着手し、平成27年初めの竣工を目指して、当社の今後50年を展望する新たな一歩を踏み出しました。

次に、セールスの徹底による宴会売上の強化に努め、法人顧客への計画的セールスと共に、景気に左右されない官公庁・各種団体、業績好調な業種や企業の新規開拓を図りました。

さらに、婚礼ブランド「LUCIS (ルーキス)」「Coeur et Coeur (クーレクール)」「LA VIE CLAIR (ラ ヴィ クレール)」に加え、顔合わせ、食事会、二次会等の婚礼関連宴席の受注強化に注力いたしました。

また、お客様にご好評をいただいております『ふかひれフェア』並びに『上海蟹フェア』を本年も実施し、集客力の強化を図りました。

そして、来店されたお客様に高品質・高付加価値の商品・サービスをご提供するため、従業員の教育・訓練を徹底すると共に、おもてなしの心を大切にした体制の確立に努めてまいりました。

しかしながら、景気回復を実感するには至らず、また新「上野本店」建設工事の影響などもあり、宴会部門、婚礼部門ともに売上高の減少となった結果、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比8.1%減の45億4,614万円、営業損失は2億15万円(前年同四半期は営業利益1,968万円)、経常損失は2億1,847万円(前年同四半期は経常損失123万円)、四半期純損失は2億6,550万円(前年同四半期は四半期純損失1,545万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ6億4,184万円増加いたしました。

これは主に、現金及び預金が四半期純損失を計上したことなどにより3億698万円減少となり、流動 資産が2億3,521万円減少したものの、固定資産が新「上野本店」の建設の着手金9億3,555万円の計上 等により8億7,706万円増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ9億109万円増加いたしました。

これは主に、借入金の新規実行による増加並びに土地建物不動産売買契約にともなう手付金3億2,200万円を計上したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ2億5,925万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失2億6,550万円を計上したことなどによります。

(3)業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、平成26年1月10日公表の「特別損失の計上並びに平成26年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	700, 445	393, 463
売掛金	228, 222	310, 258
商品及び製品	7, 790	6, 682
原材料及び貯蔵品	75, 571	83, 238
その他	112, 592	95, 760
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1, 124, 322	889, 103
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1, 298, 154	1, 236, 825
土地	8, 000, 415	8, 000, 415
その他(純額)	191, 837	1, 118, 949
有形固定資産合計	9, 490, 408	10, 356, 190
無形固定資産	10, 904	1, 358
投資その他の資産		
差入保証金	1, 701, 418	1, 695, 639
投資有価証券	135, 032	145, 298
その他	129, 046	145, 386
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1, 964, 897	1, 985, 724
固定資産合計	11, 466, 209	12, 343, 273
資産合計	12, 590, 532	13, 232, 377
負債の部		
流動負債		
買掛金	130, 264	162, 348
短期借入金	1, 160, 575	1, 022, 200
リース債務	11, 269	10, 379
未払法人税等	38, 508	23, 900
賞与引当金	66, 200	16, 000
その他	353, 218	438, 300
流動負債合計	1, 760, 035	1, 673, 128
固定負債		
長期借入金	546, 425	1, 190, 150
リース債務	23, 989	16, 427
繰延税金負債	18, 946	22, 597
再評価に係る繰延税金負債	351, 284	351, 284
退職給付引当金	495, 519	521, 712
資産除去債務	40, 200	40, 200
長期未払金	140, 194	140, 194
その他	75, 000	397, 000
固定負債合計	1, 691, 559	2, 679, 566
負債合計	3, 451, 595	4, 352, 694

株式会社東天紅(8181)平成26年2月期 第3四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

		(十二・111)	
	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)	
純資産の部			
株主資本			
資本金	2, 572, 092	2, 572, 092	
資本剰余金	6, 561, 688	6, 561, 688	
利益剰余金	735, 796	470, 295	
自己株式	△8, 498	△8,866	
株主資本合計	9, 861, 078	9, 595, 210	
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	34, 263	40, 877	
土地再評価差額金	△756, 405	△756, 405	
評価・換算差額等合計	△722, 141	△715, 527	
純資産合計	9, 138, 936	8, 879, 682	
負債純資産合計	12, 590, 532	13, 232, 377	

(2)四半期損益計算書 第3四半期累計期間

		(単位:千円)
	前第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	4, 946, 194	4, 546, 146
売上原価	2, 315, 218	2, 161, 925
売上総利益	2, 630, 976	2, 384, 221
販売費及び一般管理費	2, 611, 290	2, 584, 376
営業利益又は営業損失(△)	19, 685	△200, 155
営業外収益		
受取利息	67	70
受取配当金	1, 829	1, 937
未回収商品券受入益	1, 123	1, 487
保険配当金	1, 393	1, 536
その他	3, 174	1, 558
営業外収益合計	7, 587	6, 589
営業外費用	00.107	00.070
支払利息 その他	26, 107 2, 400	22, 373 2, 534
営業外費用合計	28, 508	24, 907
経常損失(△)	△1, 235	△218, 473
特別損失		
固定資産除却損	2, 327	30, 033
特別損失合計	2, 327	30, 033
税引前四半期純損失 (△)	$\triangle 3,562$	△248, 507
法人税、住民税及び事業税	11, 895	16, 993
法人税等調整額		_
法人税等合計	11, 895	16, 993
四半期純損失 (△)	△15, 458	△265, 500

(3)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を 営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載 を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成25年5月23日開催の定時株主総会における決議に基づき、利益準備金額を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えました。これに伴い利益準備金が637,896千円(全額)減少しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。